



本社

「ファースの家」開発元 株式会社福地建装

所在地 北斗市中野通324番地
TEL (0138) 73-5558
ホームページ <https://www.fas-21.com>

NEWYEAR TOP INTERVIEW

マスマス道南 2023 新春特集

全国へ羽ばたいても帰りたい“家” 地域に根差し生きる工務店の心

1967(昭和42)年、東京都にて北斗市出身の現会長・福地脩悦氏が鉄骨組み立て業を創業。77(昭和52)年に地元へ移転した後、北海道の気候に合った住宅システムの開発事業に着手。ウレタン吹き付け断熱工法やオール電化など、現在につながる基本仕様を定めながら89(平成元)年にファース工法を完成させ、93(平成5)年に札幌、95(平成7)年に東京へと事務所を進出させて「ファースの家」をフランチャイズ展開。以来、加盟店と業績を拡大するとともに、さらなる性能強化に向けた技術開発を事業の柱に据え、これまでにファース工法は多くの評価・性能認定を受け、特許出願や実用新案など独自技術は100件を超えている。

代表取締役社長を務める福地智氏に、同社の歩みと家造りにおける考え方、地元へ向ける思いを中心に話を伺った。

御社と「ファースの家」の歩みをお聞かせください

創業者である会長が地元に戻った際、東京で培った技術だけでは厳しい北海道の気候に太刀打ちできないことを痛感したといいます。しかし裏を返せば北海道で通用する快適な家なら、日本中どこに建てても高い価値があると考えて研究が始まりました。オイルショックの教訓で省エネが叫ばれたことから、道内の住宅建築業界は断熱性向上にかじを切ったものの、技術的にはまだまだ手探りの時代でした。当社が採用したウレタン吹き付け断熱工法は、木造住宅の隙間対策に

効果を発揮し、非常に気密性の高い建物が出来ます。しかし40年前に一般的だった暖房器具とは相性が良くないことが分かり、模索の結果オール電化との組み合わせが最適という結論にたどり着きました。

もう一つターニングポイントとなったのは、当社の建物が大学の学術研究において寒冷地の高気密住宅のデータ採取モデルとして注目されたことです。この時、第三者による客観的な性能評価やエビデンスの大切さを知り、当社の性能に対する考え方の基礎となりました。

気密・断熱をはじめ、住宅性能を表す数値は数多くありますが、当社は一つの指標が突出するのではなくバランスを重視しています。また、建物の性能を生かす住まい方があることも、数々の経験から導き出しました。こうして住宅のトータル性能を高めるため、換気・調湿・蓄熱システムなど幅広い技術開発を進めてまいりました。

早い時期からSDGsの取り組みをされていますね

当社は2018年にSDGs宣言を行いました。半永久的に住み続けられる家を理想に、可能な限り供給安定性の高い機器を採用するなど、住宅のメンテナンス性を重視してきた私たちにとって、SDGsの「持続可能」というキーワードが非常にしっくりときました。「ファースの家」の仕様策定や当社の経営判断において、より持続可能性が高くなるよ

うに判断する指針が出来たことで、家を建てる方の将来を、また会社や地域の未来をより明確に意識できるようにもなりました。SDGsの理念を取り入れたことは、当社にとって大きなプラスであったと考えています。

全国展開後も本社を地元にご置く理由をお聞かせください

当社は、フランチャイズ加盟する各地の工務店との信頼関係の構築をとっても大切にしています。どれだけ良い材料が用意できたとしても家を建てるのは人の手であり、施工の質、最終的な性能を高めるために欠かせないからです。

さらに「ファースの家」の仲間が皆、地域と共に生きる会社です。気候風土や、そこに住む人々の生活を一番よく知っている地場の工務店が、土地に合った家を建てることも、システムの性能を最大限発揮することにつながります。さらには建てた家を長きにわたって守る、町医者のような存在であることも必要です。

当社も、道南の地に根差した工務店だという意識を忘れたことはありません。私は全国を飛び回る中で、つくづく道南の良さを感じています。海も山も、食材もレジャーも、これだけ何でもさう街はなかなかありません。知れば知るほど新たな楽しみ方があり、地元愛も深くなります。最近では、茂辺地地区の「北斗星広場」に保存するブルートレインを宿泊施設として活用する取り組みに参加し、当社の空調技術などを提供しています。私たちは今後も各地で収集した情報を役立てながら、地域活性化への貢献を続けていきたいと考えております。



株式会社 福地建装
代表取締役社長

福地 智氏
(ふくち さとし)

1972年千葉県市川市生まれ、3歳から上磯町(現北斗市)で育つ。
函館工業高等学校建築科を卒業後、地元ゼネコンに入社。
93年、全国展開をスタートさせた福地建装に入社し、現場管理・設計・営業などさまざまな業務に携わる。
95年の東京事務所立ち上げとともに東京へ赴任し、モデルハウス運営や加盟店開拓に奔走。
99年に本社へ戻り、常務取締役、専務取締役を経て2018年、現職に就任。
現在、北斗市教育委員会の教育委員も務めている。